

## もう呪われない

**「あなたがたのために、地は呪われている。苦しい労苦によって、あなたがたは一生の間、その地から食物を食べることになる。」**

**創世記3:17**

神の掟に背いたために、父アダムには死の宣告が下された。しかし、この裁きの第二の側面には、地球と人間の環境にかけられた呪いも含まれている。このことが、人類一族の健康と活力の全体的な低下に大きく寄与し、墓場で終わることになった。

聖書の記録には、この裁きの最初の部分が記されている。「神である主は人を取り、エデンの園に入れ、園を耕し、園の世話をさせられた。しかし、善悪を知る木からは食べてはならない。それを食べると、必ず死ぬからである。」創世記2:15-17

## 臨終

この宣告には、聖書の記録にも明らかにされている重要な側面があり、それはこの問題を適切な観点からとらえるものである。善悪を知る木を食べてはいけないという指示に関連して、神はこう言われた。これは、アダムが罪を犯せば、直ちに死に至る過程が始まるという事実を指し示している。

私たちは、アダムがこの宣告が下されたその日に死んだのではなく、930年間生きたことを知っている。記録には、"アダムは930年生きて、それから死んだ。"とある。(創世記5:5)。神の計算では、一日は千年であり、アダムはその間に死ぬ過程を経験したのである。「しかし、親愛なる友よ、この一つのことを忘れてはならない：主にあっては、一日は千年のようであり、千年は一日のようです。"(第2ペテロ3:8)(第2ペテロ3:8)。ですから、アダムは、神の時間の測り方によれば、一日の間に死んだのです。

## 崇られた大地

罪と不従順に対する神の裁きの第二の側面は、大地そのもの、アダムとその子孫が生きていくために食物を生産するのに必要な大地そのものに関わるもの

であった。あなたは妻の言うことを聞き、わたしが『そこから食べてはならない』と命じた木の実を食べた。あなたのために、地はいばらとあざみを生やし、あなたは野の草を食べる。あなたがたはそこから取られたのであるから、地に帰るまで、あなたがたはその汗で食物を食べるのである。創世記3:17-19

## 悲しみの中で

私たちの最初の両親が、死という結末を迎えた寿命の間に経験した悲しみの深さを表現するのは難しいだろう。「悲しみ」という言葉は、心配する、悲しむ、痛むという意味で、母エバに対する神の裁きに関連して初めて使われた。「わたしは、あなたがたの出産の苦しみを非常にきびしくする。あなたの欲望は夫に向けられ、夫はあなたを支配する。」（創世記3:16）。(創世記3:16)。詩篇の作者、私たち誰もが共感できる言葉で説明している：「私たちには70年が与えられている！ある者は80歳まで生きる。しかし、最良の年月でさえ、苦しみと悩みに満ちている。"やがて、それらは消え去り、私たちは飛び去る。詩篇90:10

## ダビデの嘆き

詩篇の作者ダビデは、彼が経験してきた罪、死、呪われた地がもたらす恐ろしい結果を視野に入れた。主よ、怒りのうちに私を叱らず、怒りのうちに私を懲らしめないでください！あなたの矢は私を深く打ち、あなたの打撃は私を押しつぶす。あなたの怒りのゆえに、私の全身は痛み、私の罪のゆえに、私の健康は壊れている。私の罪のために、私の健康は損なわれた。私の愚かな罪のゆえに、私の傷は化膿し、悪臭を放つ。私は前かがみになり、痛みをさいなまれている。一日中、私は悲しみに満ちて歩き回る。猛烈な熱が私の中で燃え上がり、私の健康は壊れている。私は疲れ果て、完全に打ちひしがれている。私のうめき声は苦悩に満ちた心から出る。主よ、あなたは私が何を切望しているかご存じです。詩篇 38:1-9

## 汚染された大地

預言者イザヤは、呪われた大地について語り、罪深い人間がその大地を汚してしまったと語っている。彼はこう書いている！主は地を滅ぼし、広大な荒れ地にされようとしている。主は地表を荒廃させ、民を散らされる。祭司も民も、しもべも主人も、女中

2025年5月

も女主人も、買い手も売り手も、貸し手も借り手も、銀行家も債務者も、だれも免れない。地は完全に空になり、略奪される。主は語られた！地は嘆き、干上がり、土地は衰え、枯れる。地上の最も偉大な人々も衰える。彼らは神の指示をねじ曲げ、神の掟を犯し、神の永遠の契約を破ったからだ。それゆえ、呪いが地上を焼き尽くす。人々はその罪の代価を支払わなければならない。彼らは火によって滅ぼされ、わずかな者だけが生き残る。"イザヤ書24:1-6

## 害虫

聖書の歴史家であり福音書を書いたルカは、将来の出来事を記述する際、"地は衰え、枯れる

"というイエスの言葉を用いた。彼らは特に、ある特定の時期（

）を、地上の大いなる悩みの時と特定し、区別した。(ダニエル12:1)。これは、この "現在の悪の世"の終わりの年に、地上の人々に訪れると予言されていた。(ガラテヤ1:4)。私たちは今、人類の歴史のこの時代に生きており、聖書の預言の中で私たちの時代を特徴づける前代未聞の出来事の証人であると私たちは信じている。ルカはこう書いている。"大きな地震が起こり、多くの土地で飢饉と災いが起

こり、恐ろしいことが起こり、天からの大きな奇跡的なしるしがある”。ルカ21:11

## 男の闘い

歴史を通じて、人類はあらゆる逆境と闘わなければならなかったが、その多くの要因のいくつかは、人類一族の命を早期に失わせ続けている。多くの場合、これは疫病、疫病、疫病に由来するもので、昆虫やげっ歯類など、さまざまな方法で運ばれてきた。人類自身にも、病気やウイルス、さまざまな形の病気が蔓延してきた。また、干ばつ、洪水、凍結などの悪天候によって引き起こされる飢饉や飢餓の犠牲にもなってきた。これらは大きな要因となり、世界の食糧供給に深刻な影響を与えてきた。昆虫や雑草の蔓延により、作物の損失も発生している。これらやその他多くの人類の敵との闘いは終わりがない。

過去1世紀半の間に地球の人口が劇的に増加したため、人間家族が直面する逆境をコントロールすることが難しくなった。かつては農場が小規模であったため、害虫の侵入は限定的であり、コントロールも容易であった。しかしここ数十年で、農地は大規模

化し、害虫や病気、壊滅的な気象現象が何エーカーもの農地に蔓延するようになった。

## 科学コントロール

地球上に住む80億人以上の人々に食料を供給することは、ますます重要になってきており、人間は多くの複雑な問題に対する解決策を必死に見つけようとしている。その代表的な例が害虫駆除である。農薬は多くの種類の昆虫や病気から食用作物を守るために開発され、広く使用されている。また、アダムの時代に持ち込まれ、今もはびこり続けて食料生産を阻害している「いばらやあざみ」を駆除するために、除草剤も使用されている。呪われた大地という神の宣告は、今も続いている。

農薬の使用によって農作物の生産量が増え、多くの場合、農作物の品質が向上した。しかし、農薬は有害な昆虫を殺すために特別に設計された有毒化学物質でもあり、中には人間が口にすることで深刻な問題を引き起こすものもある。畜産においては、抗生物質やホルモン剤などの薬剤が、成長を促進し飼料の消費を抑えるために使用されている。これらの薬剤の残留物は、人間にとっても有害である。したが

って、農薬だけでなく動物用抗生物質やホルモン剤にさらされることによる害の程度は、「摂取すればするほどリスクが高まる」という概念と関連している。

## 現代の課題

課題は、信頼できる高品質の食品供給と、人々を不必要な化学物質への暴露から守る必要性とのバランスをとることである。ヒトが消費する農薬の安全基準値は幅が狭く、当初はヒトが消費しても安全だと考えられていた農薬が、望ましくない影響を及ぼす可能性があることは、過去の経験から明らかである。化学物質「DDT」はそのような歴史的な例のひとつである。

、環境中に残留し、体脂肪に蓄積する性質があるためである。その結果、DDTの使用は米国では1972年に、その他の地域では2004年に禁止された。しかし、アフリカ、アジア、南米の一部ではまだ使用されている。

抗生物質は細菌を殺すための薬だが、成長を促進し、必要な飼料の量を減らすために、畜産にも使われている。これらの薬剤を過剰に使用すると、抗生物

質耐性菌が繁殖する可能性が高まる。食肉製品に残留する抗生物質の量を減らすためには、抗生物質の管理が必要である。

最近の出来事だが、H5N1「鳥インフルエンザ」ウイルスは、過去3年間で養鶏業界を壊滅させた。米国だけでも、ウイルスの蔓延を食い止めようと2022年以降、1億4800万羽の鶏が安楽死させられたと推定されている。ありがたいことに、人間の間で報告された症例はごく少数であり、ウイルスが人から人へと広がることはない。しかし、卵やその他の関連食品が不足し、価格が高騰している。

このように、化学薬品やホルモン剤など、私たちの祖先が聞いたこともないような農業の進歩が開発されたにもかかわらず、長い間続いてきた害虫や雑草、病気との闘いが続いていることがわかる。これは、罪と死の結果として地球という惑星にかけられた呪いが、まだ解けていないことの強い証拠である。

神への不従順のゆえに、大地とそこに住む人々は呪われている。「大地はあなたがたのためにいばらとあざみを生やし、あなたがたは野の草を食べる。あなたがたは、そこから取られたのだから、地に帰る

まで、あなたがたは、その眉の汗によって食物を食べる。創世記3:16,17

## ナチュラルコントロール

科学者の間では、ある種の有用な昆虫や鳥類が、食用作物を荒らす有害な昆虫を駆除するために使われる可能性があるという事実に注意を喚起する声もある。有害な昆虫の侵入を防ぐために、自然な昆虫駆除や有機的な害虫駆除法を用いることは、殺虫剤で殺すよりも望ましいことだという。

自然防除はプラスにもマイナスにも作用する。ほとんどの場合、ある地域に生息する有害な侵入害虫からその地域を守るために、防除が導入される。害虫駆除は、侵入種間の競争を緩和するために導入される。しかし、導入された防除種が必ずしも意図した害虫群のみを対象とするとは限らない。単一の種、あるいは狭い範囲の種に限定されない防除剤は、必ずしも良い生物学的防除剤になるとは限らず、それ自体が侵入種になる可能性もある。このような予期せぬ結果を招いた事例は、過去数十年の間に数多く発生していることはよく知られている。

他のケースでは、より有益であることが証明されている。カマキリは毎日大量の有害昆虫を食い荒らすことで知られている。テントウムシも果樹をよく襲うダニやアブラムシを食べてくれる。寄生虫、捕食者、病原体、競争相手など、天敵のいくつかを作物に導入するだけで、自然の方法を見つけ、利用することができる場合もある。その他の有用な捕食者としては、害虫の個体数を制御することができるクモが挙げられる。

ディルやバジルのように不要な虫を寄せ付けない植物もあれば、蝶のような有用な昆虫を引き寄せる植物もある。病気になった植物は、健康な植物よりも害虫を引き寄せやすい。そのため、有機肥料、マルチ、堆肥で土壌を作り、植物を健康に保つことが重要である。輪作を導入するのも良い方法だ。同じ土地に毎年異なる品種の作物を植えることで、特定の有害な昆虫や雑草が増えるのを防ぐこともできる。

さらなる研究と科学的実験により、生物学的防除は、世界の食用作物生産における将来の害虫蔓延を軽減するのに役立つ可能性がある。生物的防除は今日、より多く利用されるようになっており、多くの農薬や除草剤の使用を減らすことが期待されている。

## 智慧の顕現

その努力の進歩にもかかわらず、人間は有害な昆虫、雑草、害虫、農作物や動物の病気を完全に除去するような防除法や方法を発明することも、開発することもできなかった。

人間の食糧供給がどこで栽培されていようと、その問題はあまりにも広範囲かつ多様である。しかし科学者たちは、不要な種を食べてくれる多くの種類の鳥や昆虫がいなければ、地球はとっくの昔に昆虫や雑草に完全に蹂躪されていたであろうという単純な事実を指摘している。

このように、地球上のすべての肉体の完全な荒廃を許さない、愛に満ちた天の父の偉大な知恵と支配の手が見られる。彼の導きがなければ、すべての肉体はとうの昔に滅んでいただろうし、罪の病に冒され、死に瀕した人類を完成させる望みはもはやなかっただろう。神は人が住むために地球を創造された。ソロモンの言葉にはこうある。"世代は移り、世代は去るが、地は永遠に残る"。(伝道の書1:4)。神は人間に、基本的な物理法則や原理に関するある限られた洞察を与えた。「歴史は繰り返すだけだ。歴史は繰り返すだけだ。太陽の下に真に新しいものはな

い。人々は時々、ここに新しいものがあると言う！  
本当の意味で新しいものなどないのだ。

## 神の力

神の驚くべき力は、呪いや祝福をもたらすために用いられることがある。このことは、イスラエル民族がエジプトに束縛されていた時に示された。イスラエルのパロへの束縛は、人類がサタンの下で罪と死に束縛されていることを象徴している。イスラエルの束縛からの解放は、イエスの贖いの御業によって死の宣告から解放される人間の家族を描いている。ローマ5:18,19、ヘブル9:12,15、テモテ2:5,6

古代イスラエルの場合、神は出エジプト記7章から12章に記されているような災いをエジプトにもたらした。まず、水が血に変わり、カエルが現れた。次に、シラミ、ハエ、そして牛やその他の動物に感染する伝染病であるムレインの災いが起こった。そして、腫物、嵐と暗闇を伴う雹の災いが起こった。すべての災いは神の支配下にあり、それを止めることができるのは神だけであった。この間、神の力はイスラエル民族を救うためにも用いられた。(出エジプト8:22,23; 9:4-

7)。詩篇の作者はまた、イスラエルの民がエジプトでの束縛から解放されたのは、神の力によるものであったことを示す概要説明。詩篇78:44-51

## 呪いを解く

預言者イザヤは、全人類に祝福をもたらす神の将来の計画を予言した。砂漠と干からびた土地は喜び、荒野は喜び、花を咲かせる。荒野は喜び、花を咲かせる。クロッカスのように、花は咲き誇り、大いに喜び、喜び叫ぶ。レバノンの栄光はこれに与えられ、カルメルとシャロンの栄華はこれに与えられる。"彼らは主の栄光、私たちの神の栄華を見る。(イザヤ35:1,2)。この素晴らしい光景を象徴的な言葉で表現したとき、イザヤはこうも書いている！荒れ野には泉が湧き出し、荒れ地には小川が流れる。干からびた地は池となり、水の泉は渴いた地を満たす。かつて砂漠のジャッカルが住んでいた所には、湿地帯の草や葦や藺草が繁茂する。

キリストとその忠実な信奉者たちによる現代が管理するこの未来の時代について、詩篇の作者はこうも言っている。「あなたは大地を世話して水を与え、豊かにし、

肥沃にしてくださいます。神の川は水が豊富で、穀物を豊かに実らせませす。あなたは耕された地に雨を降らせ、土塊を溶かし、畝を平らにされる。あなたは雨で大地を柔らかくし、豊かな作物を祝福する。あなたは豊かな収穫でその年を戴き、堅い道さえも豊かさに溢れさせませす。荒野の草原は青々とした牧草地となり、丘の斜面は喜びの花を咲かせる。草原は羊の群れで覆われ、谷は穀物の絨毯で覆われる。彼らは皆、喜びのために叫び、歌う。詩篇65:9-13

## 平和の誓約

私たちの愛する天の父は、預言者エゼキエルが記録しているように、より偉大な「ダビデ」であるキリスト・イエスとその忠実な従者たちを通して、人々と「平和の契約」を結ぶ。「わたしは彼らの上にひとりの羊飼、わたしのしもべダビデを置く。彼は彼らを養い、彼らの羊飼いとなる。主であるわたしは彼らの神となり、わたしのしもべダビデはわたしの民の中の王子となる。私、主は語られた！わたしは、わたしの民と平和の契約を結び、この地から危険な動物を追い払う。そうすれば、彼らは最も荒れた場所でも安全に野営し、恐れることなく森の中で眠ることができるようになる。私は

、私の民と、私の聖なる丘の周りの彼らの家を祝福する。そして適切な季節に、私は彼らが必要とするシャワーを送る。祝福の雨が降るだろう。私の民の果樹園や畑は豊作となり、誰もが安全に暮らせるようになる。わたしが彼らの奴隷の鎖を解き、彼らを奴隷にした者たちから彼らを救い出すとき、彼らはわたしが主であることを知るようになる。"エゼキエル34:23-27

## ノー・モア・カース

すべての従順な人類は、完全な惑星地球に回復し、私たちの最初の両親が罪に陥って以来存在した呪いはなくなる。キリストの治世は、世界と人々の問題に対する権力と権威をもって確立される。黙示者ヨハネは、人類一族に対するこの素晴らしい希望を語る神の幻を書き、それを視野に入れた。「天使は私に、神の御座と小羊の御座から、都の大通りの真ん中を流れる、水晶のように澄んだ命の水の川を見せた。その川の両側には、十二の実を結び、毎月実を結ぶ命の木が立っていた。その木の葉は、国々の癒しのためにある。もはや呪いはない。神と小羊の王座（

) が都にあり、そのしもべたちが彼に仕える。"黙示録22:1-3

## ノー・モア・ソロー

私たちの愛する天の父の究極的な計画と目的は、その被造物である人間の従順な者たちを、ここ、回復された完全な地上の家での完全な生活に回復させることである。神の預言者は、彼の時代から長い時の流れを見下ろし、この素晴らしい光景を描写した。主によって身代金を与えられた者たちが帰ってくる。彼らは永遠の喜びを戴き、歌いながらエルサレムに入る。悲しみと嘆きは消え去り、喜びと歓びに満たされる。"イザヤ書51章11節

啓示者ヨハネも神の聖霊に動かされ、こう記した。もう死も、嘆きも、叫びも、痛みもない。御座に着いておられる方が言われた！なぜなら、これらの言葉は信頼に足る真実なものだからである。彼は私に言った。私はアルファであり、オメガであり、始まりであり、終わりである。私はアルファであり、オメガであり、初めであり、終わりである。"渇いた者には、いのちの水の泉から、代価なしに水を与えよう。黙示録21:4-6